

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394700039
事業所名	グループホーム いわくらの泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、区長や回覧板から情報を得ている。地域清掃活動や盆踊り、さくら祭りの参加、地域の商店や飲食店の利用、ボランティアの受け入れ、小学生の職場体験などはコロナ禍の状況を確認しながら入居者と共に参加出来る方向性を模索している最中、オミクロン変異ウイルスの感染予防のため今年も、地域の清掃活動や行事等は自粛し、慎重な対応をしている。清掃日に合わせて事業所内の草取りや清掃を継続している。敷地内に自販機を設置して地域の輪づくりの場の提供や駐車場の一部を貸し出したりして地域と繋がりがながら暮らしている。季節野菜など畑の方々からの御裾分けもあり、食卓に彩を添えている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） コロナ禍により家族代表、区長、民生委員、包括支援センターや市職員の参加を得て年6回、書面により開催をしている。運営状況や活動内容、ヒヤリハット、事故報告、入居者の生活の様子を各ユニットごとに報告している。また、今年度も継続して新型コロナの最新情報や対応、対策などをわかり易く報告している。参加者からの意見や提案等は返信用封筒を同封して聴取し、必要に応じ会議などで協議しサービスの向上に活かしている。会議録は、家族全員に郵送している。会議内容を職員で共有し、サービスの向上に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に市の担当者が毎回参加し情報やアドバイスを得ているが、コロナ禍で対面での会議は見送られている。担当者とは電話やメールで今まで以上に綿密な連絡を取り合い、情報やアドバイスを得ている。リモートによる研修を受けサービスに反映している。役所には必要に応じて申請の代行業務などで出向き、報告や相談、サービスの内容などを伝えている。「のんびりネット」に登録しているためネットを活用して連絡を取り指導や助言を得ている。市主催の「郷土、ゆめ、ふれあい祭り」では、入居者の作品を毎年展示し、地域に向けてPRしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを聞いている。家族からは家族ノートを利用したり処遇についてのアンケート調査や面会時などで意見や要望を聴取している。聞き取った意見は申し送りノートに記録したり会議等で検討して職員間で情報を共有し、ケアや業務改善に役立っている。入居者の様子の写真や担当職員からのコメントを載せたグループホームだよりに加え、今年度も継続して管理者からの「コロナウイルス感染症の面会と対策」など確実性や信頼度の高い情報を家族に必要に応じて発信し安心を届けて信頼性を得ている。また、コロナ感染症における事業所としての事業継続の具体的内容の検討も視野に置いている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議については、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として書面での会議開催を実施している。事前に運営状況や活動内容、会議で検討したい議題などをまとめ議事録として家族や地域等関係諸機関に発送し、地域や家族、行政から意見や質疑応答などを返信用封書や電話などで聴取している。得られた意見や要望等を検討して再度議事録をまとめ郵送をし、家族や地域との情報のパイプが途切れないよう努めている。今年度も継続して管理者から「コロナウイルス感染症の面会と対策」など確実性や信頼度の高い情報を家族に必要に応じて発信し安心を届けて信頼性を得ている。また、コロナ感染症における事業所としての事業継続の具体的内容の検討も視野に置いている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								